

平成 26 年 6 月 23 日

麗澤大学

第 2 回 高校教員のための「道徳教育講座」開講のご案内

千葉県では平成 26 年度から県立高等学校における「道徳の時間」の必修化が実施されました。それへの対応として平成 24 年度、25 年度には複数の高等学校から本学へ道徳教育に関する研修会への講師派遣の要請がありましたが、研修会の参加者から「道徳とは何か?」「どのように教えたらいいいのか?」というような声がありました。その声に応えるため平成 25 年 8 月に「高校教員のための道徳教育講座」を本学で開催し、参加者からは好評を得ることができましたので、今年度も同様の講座を開催することを計画いたしました。

今年度の講座は千葉県教育委員会のご後援をいただき、千葉県教育委員会指導主事の武富恒徳氏、県立大多喜高校教諭の森田圭一氏のご協力を得て開催する予定です。

また、本学と学術交流協定を締結しているアメリカで人格教育の研究・実践を行っているミズーリ大学セントルイス校の人格・市民性センター (Center for Character & Citizenship) の共同センター長であるマーヴィン・バーコビッツ博士にも講演をお願いしております。今回の配布資料『学校が変わるスーパーテクニク』は同博士の著書で、アメリカにおいて長年にわたり人格教育を指導してこられた博士の理論と技法を展開したもので、教育の現場で悩み、そして戸惑う教師たちに、すぐに実践できる具体的な方法を提示しているものです。

今回の講座のメインテーマは「高等学校における道徳教育の実質化を考える」です。高等学校の先生方におかれましては、この機会にぜひともこの講座をご受講いただき、「道徳の時間」の授業展開の一助としていただければ幸いです。

以上

平成 26 年 6 月 23 日
麗 澤 大 学

第 2 回 高校教員のための「道德教育講座」開催要項

開催日時：平成 26 年 8 月 7 日（木） 13 時～17 時 30 分

開催場所：麗澤大学

主 催：麗澤大学（道德科学教育センター）

共 催：公益財団法人 モラロジー研究所

後 援：千葉県教育委員会

メインテーマ：「高等学校における道德教育の実質化を考える」

プログラム：

13:00～13:30 講演「グローバル時代に求められる道德教育（仮題）」

・中山 理（麗澤大学学長、道德科学教育センター長）

13:30～14:15 講演「千葉県における道德教育の方向性（仮題）」

・武富恒徳氏（千葉県教育庁教育振興部指導課教育課程室 指導主事）

14:15～15:00 講演「高等学校における『道德』実践事例（仮題）」

・森田圭一氏（千葉県立大多喜高等学校 教諭）

15:00～15:15 質疑応答・懇談

15:15～15:30 休 憩

15:30～17:00 講演とワークショップ「学校を変えるエンパワーメント教育（仮題）」

・バーコヴィッツ博士（ミズーリ大学教授）

【逐次通訳あり】

17:00～17:30 参加者の意見交換

資 料 代：2,000 円

配布資料：

・『高校生のための道德教科書』（麗澤大学出版会）

・『学校が変わるスーパーテクニク（アメリカの人格教育からのアプローチ）』

《バーコヴィッツ博士の著書“You Can't Teach through a Rat”の翻訳本》（麗澤大学出版会）

問合せ先：麗澤大学 学長室

TEL 04-7173-3602

申込期間：6 月 30 日（月）～7 月 22 日（火）

申込方法：メールまたは FAX にて受付

【お申込みの際の記載項目】

氏名、学校名、職名、担当教科、学校住所、学校電話番号・FAX、-連絡用 PC メールアドレス

・FAX 送信先 04-7173-1100

・E-mail 送信先 cmsekoza3602@ad.reitaku-u.ac.jp

以 上

第2回 高校教員のための「道德教育講座」受講申し込み票

麗澤大学

道德科学教育センター / 学長室 行き

以下の項目について記入し、FAX あるいは E-mail にて送信してください。

- ・ FAX 送信先 04-7173-1100
- ・ E-mail 送信先 cmsekoza3602@ad.reitaku-u.ac.jp

項目 1～8 について全てご記入ください。

1.氏名(ふりがな)	
2.高等学校名	
3.役職名	
4.担当教科	
5.学校住所	
6.学校電話番号	
7.学校 FAX 番号	
8.連絡用 E-mail (パソコンのみ)	
連絡欄	

開催日時：平成 26 年 8 月 7 日（木） 13 時～17 時 30 分

開催場所：麗澤大学

参加対象：高等学校教員を対象としていますが、その他の教育関係者でも参加可能です。

なお、高等学校教員以外の方は、事前にお問い合わせください。

資料代：2,000 円を当日徴収させていただきます。

連絡事項：

- ・ 駐車場はありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- ・ なお、お車でお越しになる場合は、申込用紙（連絡欄）にその旨をご記入ください。
- ・ 昼食は集合前にお済ませください。

問合せ先：麗澤大学 学長室 TEL 04-7173-3602

パーコヴィッツ博士について

講師：マービン・パーコヴィッツ教授 (Marvin W. Berkowitz, PhD.)
ミズーリ大学 人格と市民性センター長
エンパワーメント教育学

パーコヴィッツ教授は、人格教育(Character Education)を推進するアメリカの第一人者で、カナダ、ドイツ、スイス、スコットランド、スペイン、台湾などでのワークショップ経験も豊富な国際的に有名な教育学者です。

教授は人格教育を効果的に展開する5つの原理を明らかにしています。それらは、優先順位(Prioritization)、諸関係(Relationships)、内的動機(Intrinsic Motivation)、モデリング(Modeling)、エンパワーメント教育(Empowerment)です。

今回の講演とワークショップでは、特にエンパワーメント教育に焦点を当て、その具体的教授法をご紹介します。

エンパワーメント教育

パーコヴィッツ教授は、学校は権威的で階層構造をなす傾向があると指摘しています。学校の中には、児童・生徒のためという名目の下で、教育熱心な教師がすべてを管理するところがあります。このような学校では、児童・生徒は確かに安全で適切に教育されているように見えますが、実は児童・生徒が向学心や自主性の刺激されない状態に置かれていることが多いのです。もちろん、児童・生徒を基点とし、その興味や関心に焦点を置く学校もあります。ただし、その場合でも多くの教師は、児童・生徒のための教育をしていると思っているにもかかわらず、誤った指導法、つまりパターンリズム(父権主義)や物質的な教育法に頼りすぎているため、児童・生徒の内発的動機を引き出せないでいるとパーコヴィッツ教授は指摘しています。

パーコヴィッツ教授は、学校教育を改善するには、すべてのレベルでエンパワーメント教育を適切に実施することだと主張しています。すなわち、学校管理者、大人たち、教師、さらに、学校のすべてのステークホルダー、つまり校長・教頭、教師、職員、児童・生徒、保護者、関係するコミュニティの人びとすべてにエンパワーメント教育が適応できれば、最終的に学校生活のすべての側面にポジティブな影響が及ぶのです。つまり、ポジティブなカリキュラム、放課後活動、学校の規律、スポーツ活動などが実現するわけです。

註

*エンパワーメント

個人や集団が自分の人生の主人公となれるように力をつけて、自分自身の生活や環境をよりコントロールできるようにしていくこと。

*パターンリズム

父親の子どもに対する保護と干渉と統制関係のうちに認められる支配パターンのような関係。

*ステークホルダー

企業の経営行動などに対して直接・間接的に利害が生じる関係者(利害関係者)のことをいう。具体的には、株主、消費者(顧客)、従業員、得意先、地域社会などが挙げられる。学校でも企業と同じような関係者があると考えられる。

配布資料について



学校が変わるスーパーテクニック

教育の現場で悩み、戸惑う教師たちにすぐに実践できる具体的な教育方法を提示。



高校生のための道徳教科書

現代社会におけるモラルとは何かを生徒と共に考え、話し合うための教材。さまざまなナラティブ(物語)と「質問」を中心に編集。

